

富士市立高等学校 学校運営協議会		第33回	会議要旨 (令和5年度)
開催日 令和6年2月1日 木曜日 開 会 14時00分 閉 会 16時30分	会議場 富士市立高等学校 2階 会議室		
出席者 *敬称略 【学校運営協議会委員】 石黒 明 井上美千子(オンライン) 加藤 寧 久米昭洋 小泉彩子 塩田真吾(オンライン) 橋本 仁 畑 裕美(オンライン) 櫻井祥行 豊島 実侑委員は所用のため欠席 【市立高校教員】 小塩宜浩 上野朋子 見城喜哉 中里健 小林雄一 後藤大輝 長坂智博 佐野大悟 永田裕一 杉山秀幸 藤原恵里子 望月佑輔 佐野薫 【市立高校職員】・【市教育総務課】 榎 俊英 前田勝巳 渡邊貴広 滝 陽介 山田英雄			
開会			
<p>校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の協議会后、国内代替研修を昨年並みにいき、先日は健脚大会を4年ぶりに例年並みの距離で行うことができた。コロナが5類になったことで様々な学校行事ができるようになってきた。 ・アンケート結果をみると、生徒の学校への満足は高まってきており、学校生活は充実してきている。反面、保護者からの要望も年々増加しており、HPは他校と比較して更新頻度も多いが、それでも少ないというアンケートもあり、今後も学校での様子の情報発信に取り組んでいくことが課題として求められている。 ・今日は、授業を含めてご覧になっていただき、様々な意見をいただければと思っている。 <p>会長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日は、3回目の協議会で本年度のまとめであり、次年度につながる形で協議いただければありがたい。 ・元旦に能登半島地震があったが、コミュニティスクールの機能として、災害時に地域とともに拠点となることも発展的に求められる。いざとなれば学校は地域の核になる場所であり、他県の災害を教訓に少し考えていける部分があればよいと思っている。 <p>◇国内探究研修に関する報告</p> <p>①総合探究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様、総合探究科は大分県にある立命館アジア太平洋大学と別府市、福岡市を訪問した。 ・別府の温泉街では、コロナ後のインバウンドに対して、別府市がどうしているのかを本校で行って 			

いる市役所プランを絡めながらフィールドワークとプレゼンを通じて学習してきた。

- ・立命館アジア太平洋大学の学生にメンターとして4日間付いてもらい、生徒達にずっと英語を使わなければならない状況を意図的に作ってチャレンジさせた。
- ・最終日は福岡市内で班別活動をした。各班でいろいろな計画を立て、自分たちで福岡空港に到着するミッションを行ったが、教員が手助けすることなく無事に到着することができた。
- ・今回の研修も含めて外に出て探究活動するのが本校のスタイルだなと改めて感じた。来年度は海外探究研修に戻すが、大分の研修を良い形で繋げていければと思っている。
- ・(一方で) 準備をもっとしてくれば良かったという生徒の言葉があった。これまでは毎年先輩からの引継ぎ等があって、準備をする時間もあったと思うが、この2年が空白になってしまったので情報が届いていなかった。来年の課題として、準備をしっかりとさせて中身を良いものにしたい。

②ビジネス探究科

- ・ビジネス探究科も昨年同様、長崎県と福岡県での研修を行った。
- ・初日は長崎で平和学習として原爆資料館を訪問し、夜は稲佐山公園に登り夜景の見学をした。
- ・2日目は、ジャパネットたかたが運営する長崎スタジアムシティプロジェクトの建設地を訪問した。
- ・3日目はハウステンボスでの研修を行い、経営に関する講話を受けた。その後班別研修をして最終日は福岡市内で研修を行った後、総合探究科と同じように班ごとに空港まで移動するという形を取った。
- ・来年度から新科目として「観光ビジネス」がスタートするため、観光ビジネスの視点から物事を見るようにやってきたが、特にハウステンボスでの経営講話では、熱心に耳を傾けて質問をする様子が見られた。
- ・全体的には本物の観光地に行って本物を見て実際に自分が体験して非常に満足度の高い探究研修になった。

③スポーツ探究科

- ・スポーツ探究科も昨年同様、沖縄県の石垣島で研修を行った。
初日は海上保安庁で講話を予定していたが、飛行機の遅延により講話を聞くことができず、巡視船の見学のみとなった。
- ・2日目は西表島から水牛車体験やカヌー体験等を行った。夕食時に三線ライブを取り入れるなど現地の文化に触れることも今年は取り入れた。
- ・3日目は、潮の満ち引きで現れる幻の島でのシュノーケリングを行い、最終日は、石垣空港までタクシーを使った自由研修を行った。
- ・アンケートでは、生徒、教員共に非常に好評であった。例年、この研修を通して、HR 経営や学年経営に好影響を与えているが、今年も同様だとのこと。

◇令和5年度進路状況報告

- ・就職希望者は全員内定している。特に、トヨタカローラやミズノなど今までに就職していない企業も内定をもらっている。
- ・進学は年内の推薦に関して言えば、国公立6名、私立大学79名の合格となっている。短大、専門

学校については例年通りの状況となっている。

- ・今後、理系のクラスを中心に、スポーツ探究科の中にも一般受験で国公立を狙っている生徒もおり、結果が判明次第また報告したい。

部活動の近況について

- ・資料は2回目の学校運営協議会後の結果を挙げている。
- ・チアリーダー部が全日本チアダンス選手権大会関東大会第3位で、全国大会への出場権を獲得した。
- ・陸上部で篠原柚葉（スポーツ探究科2年）が東海大会女子100mハードルで2位、遠藤瑞季（スポーツ探究科2年）が女子800mで4位に入賞した。
- ・県大会では、サッカー部が新人戦ベスト8、選手権でベスト8、女子バレー部はベスト16だった。

授業参観 学校内を見学しながら、各授業を参観していただいた。

授業参観、国内探究研修に関する質疑応答

(意見・質問等)

・パソコンや黒板を上手に使う先生がおり、それぞれ色々なやり方を考えた上で、一番伝わりやすい方法を考えてやってくれているように感じた。授業を見学していて「これならわかりやすいな」というのを感じた。

(意見・質問等)

・1年生の数学の授業を見たが、先生と生徒の関係が良いと感じた。難しいことをやっているのに楽しく会話をしながらやっており、高校の先生も生徒に気を使いながらやっているように見えた。

(意見・質問等)

・探究研修の説明をしていただいて「そういう意図でやっているんだな」というのが良く分かった。つい「楽しそうだな、良い旅行だな」と思ってしまいが、意図があってやっていることが非常に重要で、そのようなことを皆さんにも知っていただきたい。

(意見・質問等)

・午後の眠い授業でなるべく興味を持ってもらうということで、先生もスライドに自分の写真をあえて入れて興味関心を誘ったり、資料の使い方や声の大きさも良いと感じた。

(意見・質問等)

・前に探究の発表会も見学したが、発言することにすごく自信を持っていることを感じることができた。

(意見・質問等)

・生徒から原爆記念館を見てきて「こういうことを思った」、「ああいうことが分かった」ということを伝え聞いて、ただ遊びに行くのではなく探究研修は良いと感じた。

(意見・質問等)

・グループワークの授業があったり、習熟度で異なるクラスがあったり、授業も先生ごとで異なり、良いと思う。特に選択授業の生徒は身を乗り出して好きなことをやっているように見えた。他の授業もそういった姿勢になればもっと良い学校になるのではないか。

(意見・質問等)

・探究研修で最終日にフィールドワークを行っているが「これは良いな」というフィールドワークがあれば教えていただきたい。

(回答)

・総合探究科では福岡市内で生徒に自由に計画を立てさせ、ある班は、電車に乗って大宰府に合格祈願に行ったり自分たちで動くような狙いでやっている。

<p>◇生徒、保護者、教職員アンケートの結果について（資料 20 ページから）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートでは、全体的に数値が上昇しており、生徒の満足度が高くなっていることがわかる。要因として、コロナが 5 類となり、ほぼすべての学校行事ができるようになったことが大きい。 ・家庭学習については昨年度より低下しているが、昨年度、不登校の生徒が増えているという話があり、テストや課題回収が要因として考えられた。このため、月曜の朝に行っていた週テストを廃止し、「人間関係プログラム」や HR 活動を充実させたところ、不登校に関しては改善傾向にある。 ・保護者アンケートでは、本校の活動については項目 5, 9 以外で少しポイントが下がり、学習指導や、災害時における連絡方法に関する項目が高いという結果になった。コメントで、授業参観等で学校に行く機会を増やしてほしい、常時駐車場を確保してほしいとの意見があった。 ・教職員のアンケートでは、適切な質と量の宿題を出し家庭学習、自学自習を定着させる項目で低下がみられたが、生徒のアンケートでも家庭学習の項目は低下しているので、課題であると感じている。 <p>◇学校経営報告（学校評価）について（資料 24 ページから）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書を作成する際に、細分化し過ぎることもあるため、「ア～オ」の 5 項目としてまとめた。 ・第一の「ア」は生徒が基本的な生活習慣を確立し、学校が安全安心の場であるかという、まずは学校に来るという観点が「ア」の位置付けである。この中で、朝読書を評価の対象としているが、朝読書の価値というのは非常に重要であると考えている。評価は「C」となっているが、特定の生徒が遅刻しているという面がある。 ・「学校に困ったことや悩み事を相談できる人がいる」生徒の割合が 90%であることは、週に 1 回情報交換や、保健室と担任の連携、スクールカウンセラーにつなげるといった体制が取れており、非常に良いことだと思う。富士市立高校にきて良かったと思える評価ではないか。 ・「イ」はキャリア教育だが、「学校での学びをきっかけに、さらに学びたいと思う」生徒の割合が 77%ということで、探究学習が 4 年制大学への進学など、さらに学ぶ意識を高めていると評価できる。 ・「ウ」の魅力ある授業実践と授業力向上について、「授業に満足している」生徒が 90%ということで、教員もかなり授業の工夫をしている。反面、家庭での学習に結びついていない点で課題がある。これについては、例えば 1 年部では、課題の量と学校への登校意欲のバランスを上手に取るなど腐心している。 ・「エ」はコミュニティスクールで、コロナが 5 類になって PTA の方も学校に来られるようになったが、評価は良いものの、もう少し学校へ来ていただく体制作りが欲しいと思う。 ・「オ」は主に事務室だが、一人一台パソコンを導入したことで、紙の使用量が如実に減少している。 	
<p>質疑応答</p>	
<p>(意見・質問等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ア」の生活習慣の確立について、朝読書の遅刻者を指標としているが、読書の習慣は非常に大切で、こういうことを設定しないと読書なんてすることがない。今、読解力が非常に必要になっており、これは是非死守してほしい。

(意見・質問等)	・定期テストは実施しているのか？また、そのテストの結果はどうか？
(回答)	・テストは行っている。学期ごとに成績会議を行い、いわゆる赤点も出ている。
(意見・質問等)	・「ウ」の学習習慣の確立の際にもあったが、課題が多すぎても学校に来ることができない原因になる。しかし、学力は付けなくてはならないという点で難しい。過去も含めアンケートの結果だけを見ると残念ながら、急に学習時間が伸びることは考えにくい。それでもテストで点数がそれなりに取ればよいが…。習慣化していくことが大切で、一朝一夕では難しいと思うが頑張りたい。
(意見・質問等)	・毎年、学習習慣の確立が話題になるが、来年度に向けて内訳の分析をやっていただきたい。ABC の評価というよりは、生徒の特性であるとかアンケート結果を詳しく分析してもらえればと思う。
(意見・質問等)	・生徒にアンケートをする際、勉強の定義をもう少し、しっかり示すとパーセンテージも高くなる気もするので、その辺の丁寧な分析というのも入れてよいと思う。
(意見・質問等)	・アンケートについては他の項目との相関関係も見ることができると違った特徴が見えてくることもあるので検討してもらえればと思う。
(意見・質問等)	・「ア」の生活習慣の確立のところで、遅刻者が昨年よりも増えている。その要因を教えてください。交通指導の状況についてもできれば他校の状況も含め、教えてください。
(回答)	・遅刻者の理由は特定の生徒が何回も指導を受けていることがある。交通指導については、毎朝、教員が所定の場所に立って指導している。他校の状況については具体的にはわからない。1年生の事故が多く、要因として高校から初めて自転車に乗る生徒がおり、運転に不慣れであることが挙げられる。啓発活動として、4月、7月に交通講話、命のメッセージ展も校内で開催している。
(意見・質問等)	・朝読書の遅刻者は朝読書の途中に来るとのことか？授業には間に合っているのか？
(回答)	・正式な遅刻は8時25分を超えた場合。朝読書の遅刻は8時15分に間に合わない場合で、努力目標である。
(意見・質問等)	・生徒には周知しているのか？理解しているというのであれば守る気があるか無いかという話にもなるがどうか。
(回答)	・生徒には周知している。ほぼ毎日、同じ生徒が対象になることもあるが、遅刻の理由も様々で、中には大きく体調を崩す前触れのような生徒もおり、一概にダメだということも言えず配慮した対応もしている。
(意見・質問等)	・遅刻者の指標として延べ数にすると非常に大きな人数になってしまい、特定の生徒もいるということなので、「1日何人」のように指標を変えていただくと良いのでは。
(意見・質問等)	・「ア」の「学校に困ったことや悩みを相談できる人がいる」生徒が90%というのは素晴らしい。これは是非続けて欲しい。
(意見・質問等)	・先生方の健康増進で、週3日以上午後8時以降に残留することは無いというのが担任は83.8%だが、遅い方はどのくらいやっているのか。
(回答)	・概ね9時前後が多い。それ以上になることもあるが年に数回くらいである。

(意見・質問等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「イ」のキャリア教育について、大学受験の指導をかなり手厚くしていただいた。大学の先生からもお褒めの言葉をいただき、大変感謝している。
(意見・質問等)	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記の検定の部分で「C」評価があるが、これについてはどうか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生のビジネス探究科が初めて受験する検定だが、個人的に合格率 50%であれば良くやっていると思う。ただ評価としては商業科の会議で未達成のため「C」を付けた。生徒も教員も真面目に取り組んでおり、自主的に日商簿記検定を受験する生徒もいるなど雰囲気は良い。
(意見・質問等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ウ」の魅力ある授業実践で、2週連続で生徒の発表に触れる機会があったが、探究で学んだことを自分たちの言葉できっちりと伝えていて感銘を受けた。学校全体で探究学習を行っていることを発表から感じ取ることができた。
(意見・質問等)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の見直しについて「B」という評価は新課程が2年次まで進んでいるからという認識で良いか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程についてはかなりブラッシュアップされている。3年生になると演習科目が増えたりするため、もう一度全体を見直していきたい。もう1年みてそこでしっかりと振り返りたいので「B」としている。
(意見・質問等)	<ul style="list-style-type: none"> ・HPでは部活動で中学生との体験が記載されているが、他に周知している方法はあるか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校に通知を出している部活動もあるし、HP上で募集している部活動もある。
(意見・質問等)	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、学務課であるとかそういうところを通して連絡すれば周知できると思う。中学生にとって高校生は憧れの面もあるのでスポーツだけでなく、触れる機会が多くあると良い。
(意見・質問等)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生はHPを見ずにインスタを見るので、せっかく良い取り組みをしても中学生から見たら「富士市立高校はインスタが無いから情報が無い」ということになってしまう。写真部が高校の正式アカウントを持っているところもあるので子供たち目線の情報発信があった方が中学生の目にも留まりやすいかもしれない。
(意見・質問等)	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSに関しては非常に良いアイデア。それ自身がICT活用や情報モラル的な話にもなる。
(意見・質問等)	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の公立高校では、下田高校や榛原高校が既にインスタを運用している。今後検討していただければと思う。
(意見・質問等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「オ」についてなにか学校側から意見はあるか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・紙の使用量については格段に減っている状況にある。電気使用量については残念ながら前年と比較して増加しているが単価の関係で費用は削減できている。

(結論)	<ul style="list-style-type: none">・学校から提示された評価について特に変更はせず、学校の評価を承認する。・本日出された意見を令和6年度の学校経営計画の参考にしていただきたい。
閉会	